



特別勘定（世界バランス型30AF）

# 四半期運用実績レポート

2015年4月～2015年6月

**【利用する投資信託の委託会社】** ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社

ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社は、米国ステート・ストリート銀行の資産運用部門(SSGA)の東京拠点です。1998年10月1日に業務を開始、投資信託・投資顧問業務を幅広く展開しています。ステート・ストリート銀行は、1792年に米国ボストンに設立された歴史と伝統を有する金融機関であり、卓越した財務内容と高い信用力を有しています。SSGAは、最先端テクノロジーと高度な運用技術を駆使したクオンツ運用に定評があり、特にインデックス運用では世界有数の資産運用会社として評価されています。

- ・ アクサ生命保険株式会社の「変額個人年金保険(07)有期D2型」は、特別勘定で運用を行う保険商品です。特別勘定の主たる運用手段として投資信託を用いますが、投資信託ではありません。
- ・ 当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から取得した情報に基づき作成した部分を含んでおりますが、その部分の正確性・完全性については、これを保証するものではありません。
- ・ 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・ 商品内容の詳細については「契約締結前交付書面(契約概要／注意喚起情報)」、「商品パンフレット」、「ご契約のしおり・約款」、「特別勘定のしおり」をあわせてご覧ください。
- ・ 当資料に記載されている各表にある金額、比率、ファンドの資産構成等はそれぞれの項目を四捨五入等をしているので、合計等と合致しないことがあります。

# 変額個人年金保険(07) 有期D2型

## 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年4月~2015年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・当ページは、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社が作成した運用環境をアクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 運用環境 [2015年4月~2015年6月]

#### 【日本株式市場】

日本株式市場は、企業業績の回復や国内外の景気回復への期待、円安進行などをを受けて上昇しましたが、ギリシャ債務問題が重荷となり期末にかけて上げ幅を縮小しました。  
4月は日銀短観の結果が市場予想を下回ったことなどから下落して始まりましたが、企業業績の拡大期待などから好業績銘柄を中心に買われる展開となりました。その後は中国景気やギリシャ情勢への不安などから下落したものの、19日の中国の金融緩和を受けて投資家心理が改善し上昇しました。月末にかけては米景気減速への警戒感から欧米株安となり調整しました。5月も月初は下落しましたが、欧米債券市場での金利上昇の一服や景気減速懸念の後退を受けて投資家心理が好転し、株高や円安進行を背景に上昇基調が続きました。6月はギリシャの国際通貨基金(IMF)への返済期限が迫る中、債務協議が進展するとの見方から上昇しましたが、その後は協議決裂を受けて急落しました。業種別では、「保険業」(前期末比+18.40%)の上昇率が最大となった一方、「ゴム製品」(前期末比▲4.73%)の下落率が最大となりました。

#### 【外国株式市場】

外国株式市場は、5月中旬までは緩やかな上昇基調を維持しましたが、その後は調整局面を迎え四半期全体では若干の下落に転じました。市場毎の四半期騰落率は米国市場が▲1%以内の小幅下落に留まったのに対し、欧州市場は▲3%以上の下落、アジア市場では香港市場以外は下落しました。米国株式市場は、好決算銘柄が物色され4月上旬は堅調に推移しましたが、中旬以降は主要企業の決算を控えて様子見姿勢が続いた後、月末にかけては米経済の失速懸念などから反落しました。5月に入ると好調な企業業績のトレンドに加え、4月雇用統計が市場に安心感を与え中旬までは上昇基調を維持しましたが、下旬は米連邦準備制度理事会(FRB)による年内の利上げ観測の高まりなどから弱含む展開となりました。6月は不安定なギリシャ情勢が続く中、軟調な商品市況やIMFによる米経済成長率予測の下方修正が嫌気され月央まで軟調に推移しました。17日にイエレンFRB議長が利上げは緩やかなペースになると示唆し下旬にかけては概ね堅調な展開となりましたが、ギリシャ支援協議が決裂した後は大幅下落となりました。欧州市場は、世界の中央銀行が景気支援策を継続するとの楽観的な見方が市場を支え、4月前半は好調なスタートとなりましたが、その後は高値警戒感に加え、ギリシャの債務問題の再燃や企業業績の鈍化懸念などが頭出しを経て調整局面を迎えました。5月には英下院総選挙で保守党が大勝したことや欧州中央銀行(ECB)による量的緩和策が相場を下支えし、一時は反発する局面もありましたが、6月にはギリシャ債務問題の混乱から大幅下落となりました。アジア市場は、資源価格の反発や香港市場での機関投資家に対する規制緩和の発表を受けて4月は堅調に推移しましたが、その後は不安定なギリシャ情勢や上海市場の大幅下落が重しとなり下落基調が続きました。

#### 【日本債券市場】

日本債券市場は、5月に日銀が金融政策決定会合で、「2年程度で物価上昇率2%という当初のコミットメントを弱め、早期緩和期待が後退する中で債券が売られました。その後は1-3月期GDP(改定値)が大幅に上方修正されるなど、堅調な経済指標を受けて債券が売られました。結果として日本10年国債利回りは前期末から+0.060%上昇の0.465%となりました。無担保コール翌日物は前期末から▲0.004%低下の0.011%となりました。

#### 【外国債券市場】

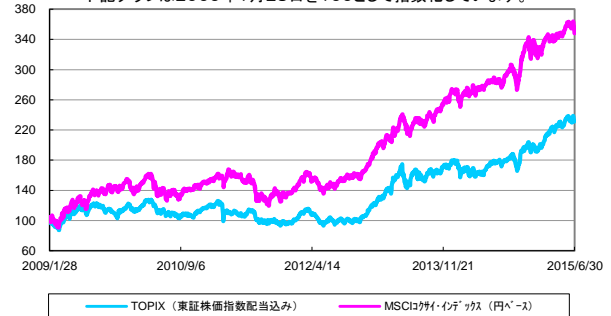
米国債券市場は、5月前半にイエレンFRB議長が長期金利は非常に低水準にあり、初回利上げ後には長期金利は急上昇する可能性があることと述べたことを背景に債券が売られました。6月には非農業部門雇用者数変化やミシガン大学消費者信頼感指数が事前予想を上回って改善するなど、堅調な経済指標を受けて利上げ期待が高まったことを背景に債券が軟調となりました。米国10年国債利回りは前期末から+0.430%上昇の2.353%となりました。欧州債券市場は、4月上旬はギリシャの債務問題懸念から独債へ買い圧力が上がり、10年国債利回りは一時0.05%を下回る過去最低水準に達しました。その後は利回りの低水準感から大きく売り戻されました。6月上旬は域内経済指標が堅調である中、ドラギECB総裁が金利の大幅変動を容認する姿勢を示したことから独債が売られました。ギリシャ情勢は期を通じて一進一退となりました。英国債券市場は、欧州市場に連動するかたちで軟調となりました。独10年国債利回りは前期末から+0.584%上昇の0.764%、英10年国債利回りは+0.448%上昇の2.024%となりました。

#### 【外国為替市場】

米ドル/円相場は、前半は方向感に欠ける展開が続きました。期後半には堅調な米経済指標が散見される中で、米ドル高が主導するかたちで日本円は主要通貨全般に対して軟調となりました。6月に入りと黒田日銀総裁による円安を牽制する発言や、ギリシャ債務問題を巡る協議が難航したことを受けリスク許容度の悪化を背景に日本円は対米ドルで上昇しました。円は対米ドルで前期末から2円28銭(1.90%)円安ドル高の1ドル=122円45銭となりました。ユーロ/円相場は、ギリシャ情勢の不透明感が煽り続けたものの、欧州債券金利が上昇する中で対日本の金利差が意識され、ユーロが対日本円で堅調となりました。円は対ユーロで前期末から6円91銭(5.30%)円安ユーロ高の1ユーロ=137円23銭となりました。

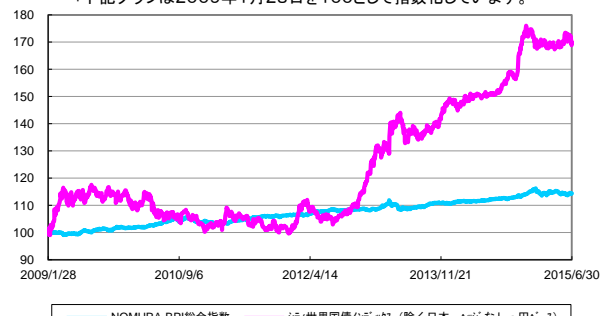
#### 日本と外国の株式市場の推移

\*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



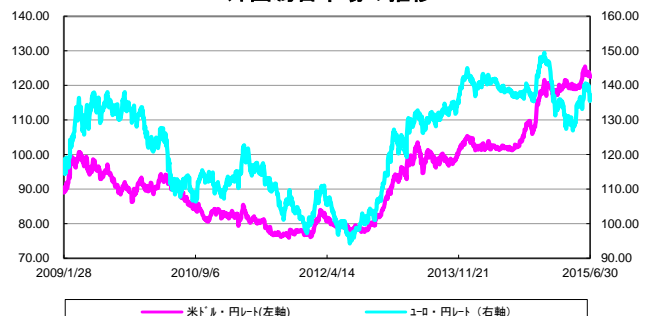
#### 日本と外国の債券市場の推移

\*下記グラフは2009年1月28日を100として指数化しています。



出所:ジェネリック日本利付国債残存10年単利(ブルームバーグ)  
出所:ジェネリック米国国債10年およびドイツ国債10年の利回り(ブルームバーグ)

#### 外国為替市場の推移



出所:株式会社三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場値

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

# 変額個人年金保険(07) 有期D2型 特別勘定の四半期運用実績レポート (2015年4月～2015年6月)

- ・当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- ・その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- ・特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。

## 特別勘定の運用状況 [2015年6月末日現在]

特別勘定名	利用する投資信託の運用方針
世界バランス型30AF	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 当ファンドは、内外の株式・公社債への分散投資を図り、長期的な信託財産の成長を目指して運用を行います。</li> <li>● 基本配分比率は原則として以下の通りとします。 日本株式10% (運用の指標: TOPIX(東証株価指数配当込み))、 日本債券30% (運用の指標: NOMURA-BPI総合指数)、 外国株式20% (運用の指標: MSCIコクサイ・インデックス(円ベース))、 外国債券40% (運用の指標: シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース))*</li> <li>* 外国債券については、実質的な組入外貨建資産の15% 部分について、原則として為替ヘッジを行います。</li> <li>● 各受益証券の時価変動などに伴う基本配分比率の変化に関しては、資産ごとに一定の変動幅を設け調整を行います。</li> <li>● 受益証券の配分に代えて、トータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。(詳しくは、P.4をご覧ください)</li> </ul>
利用する投資信託	
ステート・ストリート4資産バランス30VA2 <適格機関投資家限定>	

※ 特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額とは異なります。



・特別勘定のユニット・プライスは、特別勘定の設定日(2009年2月9日)を100.00として計算しております。

特別勘定のユニット・プライス		騰落率(%)	
2015年6月末	141.77	過去1ヶ月	▲1.86%
2015年5月末	144.45	過去3ヶ月	▲0.31%
2015年4月末	142.55	過去6ヶ月	▲0.22%
2015年3月末	142.20	過去1年	8.45%
2015年2月末	142.24	過去3年	38.73%
2015年1月末	140.13	設定来	41.77%

・実際のユニット・プライスの小数点第三位を四捨五入して表示しています。  
・騰落率は、該当月の月末のユニット・プライスに対する今月末のユニット・プライスの変動率を表しています。

項目	世界バランス型30AF	
	金額(千円)	比率(%)
その他有価証券	518,240	97.2%
現預金・その他	14,893	2.8%
合計	533,133	100.0%

・各特別勘定で利用している国内投資信託は、いずれも「その他有価証券」の項目に含まれています。  
・金額の単位未満は切捨てとしました。また、比率については小数点第二位を四捨五入しております。

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 http://www.axa.co.jp/

# 変額個人年金保険(07) 有期D2型

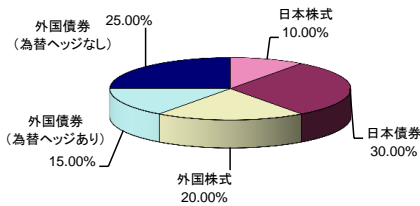
## 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年4月~2015年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の運用状況 [2015年6末日現在]

#### ■ファンドの特色

##### 【基本配分比率】



当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行い、実質的に国内外の株式および公社債等に投資を行います。当ファンドが主要投資対象とする各マザーファンドは、それぞれ以下のベンチマーク(運用成果を判断するうえで基準とする指数)と連動する投資成果を目標とする運用を行います。

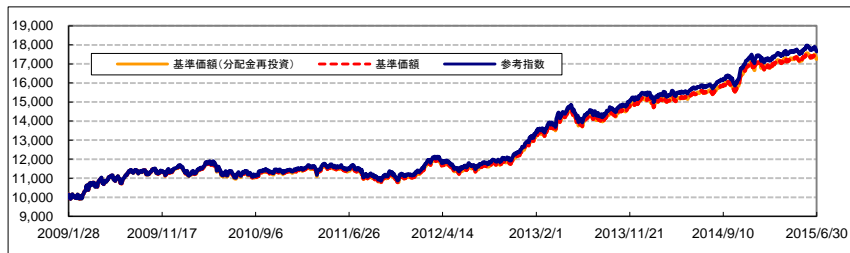
ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド受益証券: 「TOPIX(東証株価指数配当込み)」  
 ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド受益証券: 「NOMURA-BPI総合指数」  
 ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド受益証券: 「MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)」  
 ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券: 「シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)」\*

\*当ファンドは、ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド受益証券の組入れに伴う実質的な組入外貨建資産の15%部分について、原則として為替ヘッジを行いますので、当ファンドにおける当該部分のベンチマークは「シティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)」となります。

マザーファンド受益証券の配分に代えて、各マザーファンドを基本配分比率で合成した指数(ただし外国債券の為替ヘッジを行う部分については円ヘッジベース)のリターンと短期金利レートの金利を一定の条件のもとに交換するトータル・リターン・スワップ取引を利用する場合があります。

#### ■基準価額の推移

※ここでは、特別勘定で利用している投資信託の基準価額の推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。



- グラフは、ステート・ストリート4資産バランス30VA2<適格機関投資家限定>の設定日(2009年1月28日)を10,000として指数化しています。
- 基準価額および基準価額(分配金再投資)は、信託報酬(純資産総額に対し、年率0.216%(税込0.20%))控除後の値です。
- 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- 参考指数は、TOPIX(東証株価指数配当込み)10%、NOMURA-BPI総合指数30%、MSCIロクサイ・インデックス(円ベース)20%、シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)25%、およびシティ世界国債インデックス(除く日本、円ヘッジ・円ベース)15%で組み合わせた合成指数です。

#### ■概況

	2015年6月30日	前月末	前月末比
基準価額	17,249 円	17,551 円	▲ 302 円
純資産総額(百万円)	518	536	▲ 18

	基準価額	日付
設定来高値	17,563 円	2015年6月2日
設定来安値	9,905 円	2009年2月3日

#### ■資産構成

金融派生商品を使用する場合、短期金融資産の投資比率が高くなる場合があります。

	基本配分比率	ファンドの資産構成
日本株式	10.00%	8.07%
日本債券	30.00%	24.05%
外国株式	20.00%	15.79%
外国債券(為替ヘッジあり)	15.00%	11.78%
外国債券(為替ヘッジなし)	25.00%	20.29%
短期金融資産	0.00%	20.02%
合計	100.00%	100.00%

- ファンドの資産構成は、純資産総額に対する比率となります。
- 計理処理の仕組み上、直近の追加設定分が反映されないことなどにより「短期金融資産」の値がマイナスで表示されることがあります。
- REITの組み入れがある場合は、REITは株式に含めて表示しています。

\* 下記比率は、純資産総額に対する国別及び通貨別の比率となります(「短期金融資産」を除く)。

#### ■組入上位5カ国

国名	比率
日本	32.12%
アメリカ	22.97%
イギリス	4.08%
フランス	3.71%
イタリア	3.25%

#### ■組入上位5通貨

通貨	比率
円	43.90%
米ドル	17.99%
ユーロ	10.13%
ポンド	3.07%
加ドル	1.06%

\* 上記比率は、為替ヘッジ後の比率となります。

#### ■騰落率

	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲1.72%	0.28%	0.98%	11.37%	50.54%	72.47%
参考指数	▲1.65%	0.41%	1.19%	11.86%	52.23%	76.54%
差	▲0.07%	▲0.13%	▲0.21%	▲0.49%	▲1.69%	▲4.07%

- ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しております。
- また、ファンドの騰落率と実際の投資者利回りとは異なります。

・表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命ホームページ <http://www.axa.co.jp/>



# 変額個人年金保険(07) 有期D2型

## 特別勘定の四半期運用実績レポート (2015年4月～2015年6月)

- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

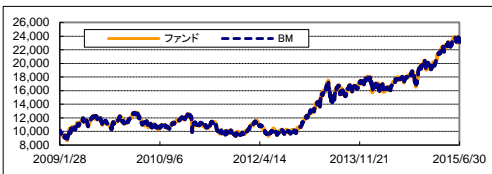
### 各マザーファンドの運用状況 [2015年6月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

#### ステート・ストリート日本株式インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : TOPIX (東証株価指数配当込み)  
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 133,899 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	▲2.49%	5.85%	17.01%	31.62%	125.27%	132.41%
ベンチマーク	▲2.42%	5.84%	16.98%	31.55%	124.97%	131.91%
差	▲0.06%	0.01%	0.03%	0.07%	0.30%	0.50%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,883 銘柄

順位	銘柄	業種	ファンド	BM
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.66%	4.74%
2	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	2.87%	2.92%
3	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	1.68%	1.71%
4	ソフトバンク	情報・通信業	1.55%	1.58%
5	みずほフィナンシャルグループ	銀行業	1.50%	1.53%
6	本田技研工業	輸送用機器	1.47%	1.49%
7	日本電信電話	情報・通信業	1.41%	1.43%
8	KDDI	情報・通信業	1.22%	1.24%
9	日本たばこ産業	食料品	1.11%	1.13%
10	ファナック	電気機器	1.08%	1.09%
合計			18.54%	18.87%

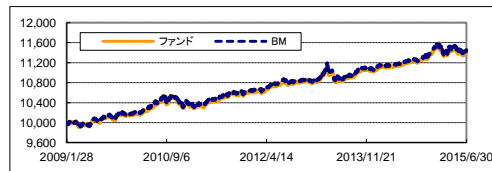
#### 組入上位10業種

順位	業種	ファンド	BM	差
1	電気機器	12.52%	12.73%	▲0.22%
2	輸送用機器	11.02%	11.22%	▲0.19%
3	銀行業	9.54%	9.71%	▲0.17%
4	情報・通信業	6.73%	6.85%	▲0.13%
5	化学	5.83%	5.92%	▲0.10%
6	機械	4.90%	4.99%	▲0.08%
7	医薬品	4.63%	4.71%	▲0.08%
8	小売業	4.60%	4.67%	▲0.08%
9	卸売業	4.11%	4.18%	▲0.07%
10	食料品	4.08%	4.15%	▲0.07%
合計		67.96%	69.15%	▲1.19%

#### ステート・ストリート日本債券インデックス・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : NOMURA-BPI総合指数  
※ 比率は、純資産総額比となります。

純資産総額: 173,409 百万円



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去 1か月	過去 3か月	過去 6か月	過去 1年	過去 3年	設定来
ファンド	▲0.05%	▲0.18%	▲0.64%	2.04%	6.13%	14.15%
ベンチマーク	▲0.06%	▲0.20%	▲0.66%	2.01%	6.09%	14.43%
差	0.01%	0.02%	0.03%	0.04%	0.04%	▲0.28%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 711 銘柄

順位	銘柄	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	第333回利付国債	0.600%	2024年3月20日	1.24%	0.87%
2	第119回利付国債	0.100%	2019年6月20日	1.21%	0.30%
3	第332回利付国債	0.600%	2023年12月20日	1.12%	0.90%
4	第118回利付国債	0.200%	2019年6月20日	1.04%	0.62%
5	第337回利付国債	0.300%	2024年12月20日	1.03%	0.57%
6	第105回利付国債	0.200%	2017年6月20日	0.98%	0.91%
7	第298回利付国債	1.300%	2018年12月20日	0.96%	0.50%
8	第335回利付国債	0.500%	2024年9月20日	0.93%	0.81%
9	第286回利付国債	1.800%	2017年6月20日	0.90%	0.48%
10	第334回利付国債	0.600%	2024年6月20日	0.82%	0.89%
合計				10.24%	6.84%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことで表面利率を表します。

#### 債券種別資産構成比率

	ファンド	BM	差
国債	79.00%	80.52%	▲1.52%
地方債	5.97%	5.94%	0.03%
政府保証債	3.75%	3.59%	0.17%
金融債	0.99%	0.90%	0.09%
事業債	7.51%	7.17%	0.33%
円建外債	0.82%	0.60%	0.21%
MBS債	1.30%	1.28%	0.02%
コール・その他	0.66%	0.00%	0.66%
合計	100.00%	100.00%	0.00%

・ 資産担保証券 (ABS) は事業債に含まれています。

#### 利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	0.44%	0.43%	0.00%
平均クーポン	1.30%	1.22%	0.09%
平均残存期間	9.00	8.99	0.01
修正デュレーション	8.10	8.10	0.00

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 2013年11月より、BMの数値はポートフォリオの属性分析を行っている大和Poetにより、委託会社が計算して掲載しております。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

【引受保険会社】  
アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命 <http://www.axa.co.jp/>

# 変額個人年金保険(07) 有期D2型

## 特別勘定の四半期運用実績レポート(2015年4月~2015年6月)

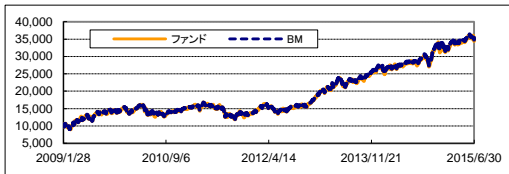
- 当資料中の運用実績に関するいかなる内容も過去の実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、予告なしに当資料の内容が変更、廃止される場合がありますのであらかじめご承知おきください。
- その他、当資料に関する「変額個人年金保険(07)有期D2型のリスク及び諸費用について」を7/7ページに掲載していますので必ずご参照ください。
- 特別勘定資産は、投資信託を利用している部分の他に、保険契約の異動等に備える部分を加えたものとなります。後者の部分については、利用する投資信託の委託会社であるステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社の裁量の範囲外となります。
- 当ページは、ステート・ストリート・グローバル・アドバイザーズ株式会社による運用報告を、アクサ生命保険株式会社が提供するものであり、内容に関して、アクサ生命保険株式会社は一切責任を負いません。

### 各マザーファンドの運用状況 [2015年6月末日現在]

※ ここでは、特別勘定で利用している投資信託のマザーファンドの基準価額推移等を記載しております。特別勘定のユニット・プライスは、ファンドの基準価額とは異なります。

#### ステート・ストリート外国株式インデックス・オープン・マザーファンド

※ ベンチマーク (BM) : MSCIロクサイ・インデックス(円ベース) **純資産総額:** 169,244 百万円  
 ※ 比率は、純資産総額比となります。



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲3.94%	1.33%	2.43%	22.70%	141.92%	244.98%
ベンチマーク	▲3.95%	1.41%	2.57%	22.86%	142.93%	248.17%
差	0.01%	▲0.07%	▲0.14%	▲0.16%	▲1.01%	▲3.20%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 1,339 銘柄

順位	銘柄	国名	業種	ファンド	BM
1	APPLE INC	アメリカ	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.26%	2.36%
2	EXXON MOBIL CORP	アメリカ	エネルギー	1.08%	1.13%
3	MICROSOFT CORP	アメリカ	ソフトウェア・サービス	1.08%	1.12%
4	WELLS FARGO COMPANY	アメリカ	銀行	0.85%	0.89%
5	JOHNSON & JOHNSON	アメリカ	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.84%	0.88%
6	GENERAL ELECTRIC CO	アメリカ	資本財	0.83%	0.87%
7	JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ	銀行	0.78%	0.81%
8	NESTLE SA-REG	スイス	食品・飲料・タバコ	0.75%	0.78%
9	NOVARTIS AG-REG SHS	スイス	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	0.71%	0.75%
10	PROCTER & GAMBLE CO	アメリカ	家庭用品・パーソナル用品	0.66%	0.69%
合計				9.84%	10.28%

・ ベンチマーク (BM) の比率は2015年6月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場で円換算したものです。

#### 組入上位10業種

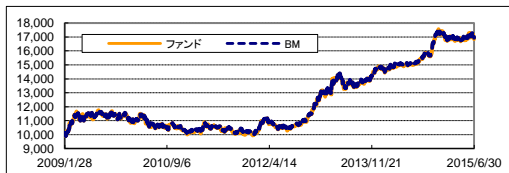
順位	業種	ファンド	BM
1	医薬品・バイオテクノロジー・ライフサイエンス	9.89%	10.37%
2	銀行	9.27%	9.70%
3	エネルギー	7.52%	7.86%
4	ソフトウェア・サービス	7.01%	7.32%
5	資本財	6.84%	7.12%
6	食品・飲料・タバコ	5.91%	6.17%
7	素材	4.82%	5.02%
8	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.23%	4.43%
9	保険	4.07%	4.25%
10	各種金融	3.97%	4.16%
合計		63.54%	66.41%

#### 組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	60.17%	62.88%
2	イギリス	8.39%	8.75%
3	フランス	4.02%	4.21%
4	スイス	3.83%	3.99%
5	カナダ	3.79%	3.95%
6	ドイツ	3.66%	3.84%
7	オーストラリア	2.78%	2.89%
8	スペイン	1.43%	1.51%
9	香港	1.33%	1.37%
10	スウェーデン	1.24%	1.27%
合計		90.66%	94.66%

#### ステート・ストリート外国債券インデックス・マザー・ファンド

※ ベンチマーク (BM) : シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース) **純資産総額:** 219,622 百万円  
 ※ 比率は、純資産総額比となります。



・ 2009年1月28日を10,000として指数化しています。

#### 騰落率

	過去1か月	過去3か月	過去6か月	過去1年	過去3年	設定来
ファンド	▲1.49%	0.39%	▲2.72%	12.78%	62.03%	69.47%
ベンチマーク	▲1.47%	0.45%	▲2.68%	12.83%	62.26%	70.07%
差	▲0.02%	▲0.06%	▲0.04%	▲0.05%	▲0.23%	▲0.60%

・ 設定以来の騰落率は、2009年1月28日を起点として計算しています。

#### 組入上位10銘柄

組入銘柄数: 468 銘柄

順位	銘柄	通貨	クーポン	償還日	ファンド	BM
1	アメリカ国債	米ドル	2.250%	2024年11月15日	0.83%	0.44%
2	アメリカ国債	米ドル	1.000%	2019年9月30日	0.82%	0.13%
3	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2025年2月15日	0.74%	0.43%
4	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2022年2月15日	0.73%	0.20%
5	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2019年7月31日	0.71%	0.09%
6	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年11月15日	0.70%	0.27%
7	アメリカ国債	米ドル	2.500%	2024年5月15日	0.68%	0.44%
8	アメリカ国債	米ドル	0.875%	2016年11月30日	0.67%	0.23%
9	アメリカ国債	米ドル	0.625%	2016年12月15日	0.67%	0.20%
10	アメリカ国債	米ドル	2.000%	2021年5月31日	0.65%	0.18%
合計					7.21%	2.61%

・ 「クーポン」とは、債券の額面に対して毎年受け取れる利息の割合のことです。

・ ベンチマーク (BM) の比率は2015年6月29日時点の時価をもとに月末の対顧客電信相場で円換算したものです。

#### 組入上位10カ国

順位	国名	ファンド	BM
1	アメリカ	42.01%	42.12%
2	イタリア	9.64%	9.62%
3	フランス	9.59%	9.57%
4	イギリス	8.61%	8.64%
5	ドイツ	7.73%	7.72%
6	スペイン	5.27%	5.26%
7	オランダ	2.56%	2.58%
8	ベルギー	2.56%	2.56%
9	カナダ	2.28%	2.30%
10	オーストラリア	1.74%	1.77%
合計		92.00%	92.13%

#### 利回り・残存年限

	ファンド	BM	差
平均複利利回り	1.42%	1.42%	0.01%
平均クーポン	3.36%	2.88%	0.48%
平均残存期間	8.01	7.92	0.09
修正デュレーション	6.49	6.48	0.01

・ 「複利利回り」とは、個別の債券等を満期まで保有した場合の複利利回りを加重平均したものです。あくまで、計算日時点の評価にもとづくものであり、売却や償還による差損等を考慮したものではありません。

・ 「修正デュレーション」とは、債券価格の弾力性を示す指標として用いられ、金利の変化に対する債券価格の変動率を示します。

・ 上記の属性は2015年6月29日時点のものです。

・ 表示桁未満の数値がある場合、四捨五入で処理しております。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
 〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
 TEL 0120-933-399  
 アクサ生命ホームページ http://www.axa.co.jp/

## 変額個人年金保険(07) 有期D2型のリスク及び諸費用について

### 【投資リスクについて】

- ・この保険は、積立金額および年金額等が特別勘定資産の運用実績に応じて変動(増減)するしくみの変額個人年金保険です。
- ・特別勘定資産の運用は、投資信託を利用して国内外の株式・公社債等で行っており、株式および公社債等の価格変動と為替変動にともなう投資リスクがあります。
- ・特別勘定資産の運用実績が積立金額に直接反映されますので、このリスクはご契約者に帰属し、ご契約者が損失を被ることがあります。
- ・運用実績によっては、ご契約を解約した場合の解約払戻金額等が一時払保険料を下回る場合があります。
- ・特別勘定における資産運用の結果がご契約者の期待通りでなかった場合でも、アクサ生命、アクサ生命の募集代理店および第三者がご契約者に何らかの補償・補填をすることはありません。

### 【ご契約者にご負担いただくこの保険の費用は下記のとおりです】

- この保険では、「契約初期費」、「保険関係費」、「運用関係費」の合計額をご負担いただきます。一般勘定で運用する年金をご選択の場合、他に「年金管理費」をご負担いただきます。

#### 【ご契約時】

項目	費用	ご負担いただく時期
契約初期費	ご契約の締結等に必要の費用 一時払保険料に対して <b>5.0%</b>	特別勘定に繰り入れる際に、一時払保険料から控除します。

#### 【積立期間中および特別勘定年金支払期間中】

項目	費用	ご負担いただく時期
保険関係費	既払年金累計金額と死亡一時金額の合計金額の最低保証、死亡給付金額の最低保証、災害死亡給付金額のお支払い、ならびに、ご契約の維持等に必要の費用 特別勘定の積立金額に対して 年率 <b>2.3%</b>	積立金額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、特別勘定の積立金額から控除します。
運用関係費	投資信託の信託報酬等、特別勘定の運用に必要な費用 投資信託の純資産額に対して 年率 <b>0.216%程度</b> ( <b>税抜:年率0.20%程度</b> )*	特別勘定にて利用する投資信託における純資産額に対して左記割合(率)を乗じた金額の1/365を、毎日、投資信託の純資産額から控除します。

- \* 運用関係費は、主に利用する投資信託の信託報酬率を記載しています。信託報酬の他、お客さまにご負担いただく手数料には、信託事務の諸費用、有価証券の売買委託手数料および消費税等の諸費用がかかりますが、これらの費用は運用資産額や取引量等によって変動するため、費用の発生前に具体的な金額や計算方法を記載することが困難であり、表示することができません。また、これらの費用は特別勘定がその保有資産から負担するため、基準価額に反映することとなります。したがって、お客さまはこれらの費用を間接的に負担することとなります。運用手法の変更・運用資産額の変動等の理由により、将来変更になる可能性があります。

#### 【一般勘定で運用する年金の支払期間中】

- ※ 一般勘定で運用する年金とは、保証期間付終身年金・保証期間付夫婦連生終身年金・確定年金・一時金付終身年金を意味します。(年金支払特約等によりお受け取りいただく年金を含みます。)

項目	費用	ご負担いただく時期
年金管理費	年金のお支払いや管理等に必要な費用 年金額に対して <b>1.0%*</b>	年金支払日に責任準備金から控除します。

- \* 年金管理費は、将来変更になる可能性があります。

変額個人年金保険(07)有期D2型「いつでも夢を」は現在販売していません。

#### 【引受保険会社】

アクサ生命保険株式会社  
〒108-8020 東京都港区白金1-17-3  
TEL 0120-933-399  
アクサ生命株式会社 <http://www.axa.co.jp/>